

慶應義塾医学部新聞

発行所 慶應義塾大学 医学部新聞編集室
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64996
会費 1部20円(税込) 発行日 毎月1回20日発行

第62回東医体 慶應5部門優勝!

第62回東日本医科学生総合体育大会(東医体)夏季大会が開催された。東医体は、各競技の順位に応じたポイントが大学に付与され、その合計で総合優勝校を争うシステムとなっている。今大会において、ゴルフ男子部、女子部、水泳男子部、女子部および硬式テニス女子部の計5部門優勝を収めた。さらに、多くの部門でポイント獲得を成し遂げた。今月号及び来月号では、各部門で活躍した選手達や各部活へのインタビューをお届けする。

また、来月号にて、大会運営本部発表の各部門の正式な順位、および慶應義塾大学医学部の夏季部門総合順位をお伝えする。

選手たちの熱く、深く、苦しいと夏の汗を流す者たちの活躍に敬意を表し、おめでとうございます。

(5年 倉畑智一)

水泳部 有言実行! 男女アベック優勝

男子部門では、勝となった去年から、偉大な先鋒が引退され、今シーズンには戦いが予想された1年での優勝を目指した。しかし、新たな入部した北村亮太さん(5年)が、その活躍が期待された。そして水泳部(5年)のコントをお任せする。先鋒後輩ともに切磋琢磨する部活を目指していき「女子優勝、男子準優勝」と思っています。

(北村亮太さん)

男子は4年ぶりの総合優勝、女子は昨年に引き続き優勝を成し遂げました。男女アベック優勝は史上初です。僕達が一歩ずつ努力し、優勝が1年生の時以来4年ぶりのことです。このように快挙を達成した瞬間、立ちあがり、泣きながら涙を流して、今を非難し、光栄を感じています。これを期に医学部体育会が一段と盛り上がり、これからの体育会委員長としても期待しております。(鈴木友浩君)

主将としてチームを男女アベック優勝に導いた山村勝平君(4年)のインタビューは次号にお届けする。

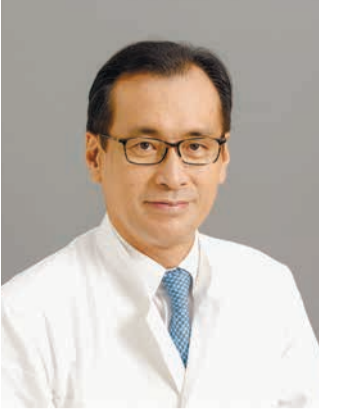
※各部門で優秀な成績を収めた選手と3位以内に入賞した競技結果は以下の通り。

【男子部門】吉田大蔵君(50m自由形1位・2.00m自由形1位・2.00mフリースタイル1位・2.00mメドレーリレー1位、3年)、國弘治夏君(100m背泳ぎ3位、400mメドレーリレー1位、3年)、三輪智也君(400m自由形3位、2年)、橋本峻君(200m背泳ぎ3位、200mフリースタイル2位、400mメドレーリレー1位、3年)、仲尾捷君(200mフリースタイル2位、4年)

【女子部門】北村亮太さん(50m自由形2位、100m自由形3位・2.00mメドレーリレー1位、200mフリースタイル2位、400mメドレーリレー3位、5年)、小川夏美さん(200mメドレーリレー1位、2.00mフリースタイル2位、400mフリースタイル3位、4年)、木村あやのさん(200mメドレーリレー1位、200mフリースタイル2位、400mフリースタイル3位、5年)、男子400mメドレーリレー(1位)は大会新記録であった。(4年 丸山智星)

速報

北川雄光病院長(外65回) 2期目決定



大学病院規程および大学病院長選考規程に則り、7月22日開催の病院長適任者選考委員会を経て、塾長より北川雄光教授(外科学)が病院長として任命された。次期病院長の任期は、2019年10月1日から2年間となる。

信濃町駅前・各種診療

慶應義塾大学病院

外来診療時間 午前8時30分～午後12時
午後1時～午後5時(夜間急病外来)
電話 03-3353-1211(1号機) 03-3353-1212(2号機)

ゴルフ部 団体戦 男女アベック優勝



第62回東医体ゴルフ競技を成し遂げた。技は8月5日から8月8日の日程で風月カントリー倶楽部にて行われ、本沙由理さん(4年)は、硬式テニス女子部の計5部門優勝を収めた。さらに、多くの部門でポイント獲得を成し遂げた。今月号及び来月号では、各部門で活躍した選手達や各部活へのインタビューをお届けする。

また、来月号にて、大会運営本部発表の各部門の正式な順位、および慶應義塾大学医学部の夏季部門総合順位をお伝えする。

選手たちの熱く、深く、苦しいと夏の汗を流す者たちの活躍に敬意を表し、おめでとうございます。

(5年 倉畑智一)

果だと思いません」と述べられなかったと口を揃え、部内の高いレベルの競争が好成績につながったと分析した。

加えて男子部においては明確なライバルの存在が部員の士気を高めたという。男子部主将の磯田瑞希君(4年)は「宿敵である筑波大学の影響で、ずっと強い慶應という意識で臨むことができた」と振り返る。

個人戦とは異なり、団体戦という種目はまさにチームが「丸」となれば良い成績を残すことはできない。両主将は「仲間へのサポートがなければ優勝は成し遂げられなかった」と口を揃え、ゴルフ部の誇る結果力の強さが遺憾なく発揮された大会だったといえる。

今後に向けて白木さんは「刺激あえる先輩後輩に囲まれたこの環境に感謝しながら、ゴルフ部全体の力をさらに高めたい」と語り、これから一層努力を続けていきたいと力強く語った。

団体戦男子部アベック連覇に向けて、陸王者の快進撃はまだまた続く。(3年 山田慶英)

硬式庭球部 女子団体優勝 男子4位



8月2日から7日に山梨県で開かれた第62回東日本医科学生総合体育大会(東医体)夏季大会(硬式テニス)において、女子部が4年ぶりに優勝を成し遂げた。男子部は4位入賞を収めた。

女子部主将の越田さん(4年)は「練習に励んで参りました。その努力が実り、優勝を成し遂げました。2連覇を目指して、引き続き精進します。(5年 蔵田準也)」

軟式テニス部 女子団体は7位入賞



第62回東日本医科学生総合体育大会(東医体)夏季大会(軟式テニス)において、女子部が7位入賞を成した。男子部は4位入賞を収めた。

女子部主将の越田さん(4年)は「練習に励んで参りました。その努力が実り、優勝を成し遂げました。2連覇を目指して、引き続き精進します。(5年 蔵田準也)」

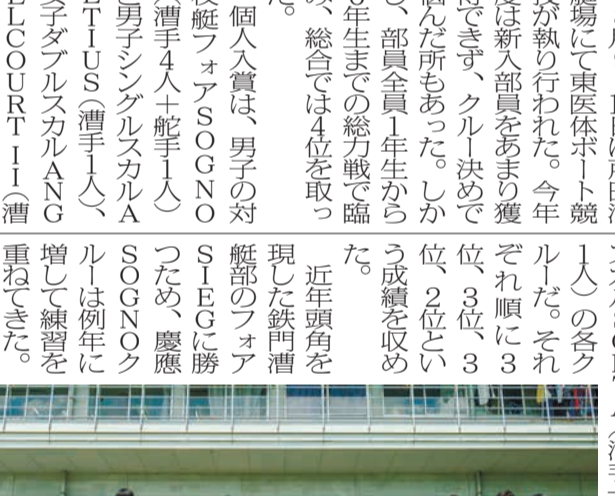
弓道部 団地で3位入賞



8月6日から9日の4日間に行われ、埼玉県立武蔵野高等学校(武蔵野)と第62回東日本医科学生総合体育大会(東医体)夏季大会(弓道)において、男子部が3位入賞を成した。

男子部主将の越田さん(4年)は「練習に励んで参りました。その努力が実り、優勝を成し遂げました。2連覇を目指して、引き続き精進します。(5年 蔵田準也)」

端艇部 悲願の対校フォア表彰台



8月9、10日、川田漕艇場にて東医体(ソフト)競技が行われた。今年度は新入部員あまの、度々、クル決めで悩んだ所もあった。しかし、部員全員1年生から6年生までの総力戦で、総合では4位を取った。

近年頭角を現した鉄門漕艇部のフォア(漕手4人)が、SOGNO(漕手4人)と男子シングルスカル(漕手1人)、女子ダブルスカル(漕手2人)、女子シングルスカル(漕手1人)の増強を重んじてきた。

競走部 男子総合5位、女子総合20位



高澤剛史君(400m1位、5年)、北村卓也君(ハンマー投げ2位、3年)、および千田晋太郎君(ハンマー投げ3位、6年)の3名が3位以内に入賞した。

バスケット部 男子ベスト8、女子1回戦敗退



男子部はベスト8入り、女子部は1回戦敗退となった。

【編者知来】

働き改革、少子高齢化、消費税率増徴、高学歴化、地域医療構想等々、医療機関は経営上多くの難い問題を抱えており、特に地域医療構想は、ベッドを減らす構想が切迫し、減らす政策であり、公立・公的病院は、公費でなければ果敢たない機能特化している。その地域でのパフォーマンスの高い民間病院と競合している民間病院へ移行、多くの病院に手術症例等が拡散している。判断が求められる。統合が促され、実際の10の地域で、昨年度より一層により川崎市立井田病院が世話になっていく。多くの三四会先輩が活躍された病院は、今年設立70周年を迎えた。高度急性期を担う民間病院に長年おられたの、自治体病院への対するフレキシビリティのなさを感じておられますが、当該はくつもの誇り、特色を有しています。昭和24年に結核医療を担う病院として設立されて以来、今も市内で唯一結核科床を持つ。また、20年前に他院に先駆けて緩和ケアをスタート、これは地域が診療拠点を病院の中での評価が高い領域です。また、緩和ケアの患者さんに対する取り組みとして、在宅医療にも古くから取り組んでおり、がん医療については、がん診断、ロボット手術を含む高度治療から在宅医療までを一貫して提供できる体制を構築しています。4年前には美しい新棟が全面開院いたしました。この特色は、周辺の競合病院にはない当院の強みであり、今後も前面に押し出して生き残り戦略をたてる必要があると考えます。有り難いことに、若くは初期研修医や専攻医に気があり、整備された保育所を有するため、合格率1/3も強みと考えます。

医学部 関連病院、三四会先輩の指導で鞭撻を引き継ぎたいとお願ひいたします。

川崎市立井田病院院長 中島洋介 61回